

サヴァンパレス西津田お客様各位

2026年2月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2021年9月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

- ① 基準平均原料価格 95,670 (円/t) (供給約款より)
② 実績平均原料価格 84,720 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2025年12月	495.0 (\$/t)	2025年12月	為替レート(TTS)	156.20 (円/\$)
	2026年1月	525.0 (\$/t)	2026年1月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	510.0 (\$/t)	2026年1月	輸送運賃	9,600 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2025年12月	308.0 (\$/t)		※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 510.0 \times 156.20 \times 0.7 + (308.0 + 105.00) \times 156.20 \times 0.3 + 9,600 \\ &\doteq \mathbf{84,720} \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額(100円未満切り捨て)} &= \text{実績平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ \text{今月の原料価格変動額} &= 84,720 - 95,670 = \mathbf{-10,950} \rightarrow \mathbf{-10,900} \text{ 円} \end{aligned}$$

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{-10900}{100} \times 110\% = \mathbf{-25.1790} \doteq \mathbf{-25.18} \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。
ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. サヴァンパレス西津田の料金表(料金は全て税込表示)

サヴァンパレス西津田

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	919.86	543.91	518.73
B群 8.1~30.0m ³	1,177.00	511.77	486.59
C群 30.1m ³ 以上	2,257.75	475.73	450.55

サヴァンパレス西津田お客様各位

2026年3月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2024年8月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

① 基準平均原料価格 95,670 (円/t) (供給約款より)

② 実績平均原料価格 89,240 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP) 2026年1月 525.0 (\$/t) 2026年1月 為替レート(TTS) 156.95 (円/\$)

2026年2月 545.0 (\$/t) 2026年2月 米国産物流経費 105.00 (\$/t)

2ヶ月平均 535.0 (\$/t) 2026年2月 輸送運賃 9,700 (円/t)

米国産原料価格(MB) 2026年1月 336.0 (\$/t) ※JGE 中東フレート

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 535.0 \times 156.95 \times 0.7 + (336.0 + 105.00) \times 156.95 \times 0.3 + 9,700 \\ &\doteq \mathbf{89,240} \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

原料価格変動額(100円未満切り捨て) = 実績平均原料価格 - 基準平均原料価格

今月の原料価格変動額 = 89,240 - 95,670 = -6,430 → -6,400 円

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{-6400}{100} \times 110\% = -14.7840 \doteq \mathbf{-14.79} \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。

ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. サヴァンパレス西津田の料金表(料金は全て税込表示)

サヴァンパレス西津田

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	919.86	543.91	529.12
B群 8.1~30.0m ³	1,177.00	511.77	496.98
C群 30.1m ³ 以上	2,257.75	475.73	460.94

サヴァンパレス西津田お客様各位

2026年4月 検針分のガス料金のお知らせ

日頃から弊社のガスをご利用いただきまして厚くお礼申し上げます。
さて、原料費調整制度(2024年8月より改定)に基づき、従量料金単価を調整させていただきます。

1. 原料費調整額の算定に用いる原料価格

- ① 基準平均原料価格 95,670 (円/t) (供給約款より)
② 実績平均原料価格 90,900 (円/t)

【実績平均原料価格の算定根拠】

中東産原料価格(CP)	2026年2月	545.0 (\$/t)	2026年2月	為替レート(TTS)	157.78 (円/\$)
	2026年3月	545.0 (\$/t)	2026年3月	米国産物流経費	105.00 (\$/t)
	2ヶ月平均	545.0 (\$/t)	2026年3月	輸送運賃	10,500 (円/t)
米国産原料価格(MB)	2026年2月	322.0 (\$/t)		※JGE 中東フレート	

※中東産原料を7割 米国産原料を3割で算定いたします

$$\begin{aligned} \text{実績平均原料価格} &= \text{CP} \times \text{TTS} \times 0.70 + (\text{MB} + \text{米国産物流経費}) \times \text{TTS} \times 0.30 + \text{輸送運賃} \\ &= 545.0 \times 157.78 \times 0.7 + (322.0 + 105.00) \times 157.78 \times 0.3 + 10,500 \\ &\doteq 90,900 \text{ (円/t)} \end{aligned}$$

2. 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額(100円未満切り捨て)} &= \text{実績平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ \text{今月の原料価格変動額} &= 90,900 - 95,670 = -4,770 \rightarrow -4,700 \text{ 円} \end{aligned}$$

3. 従量料金単価調整額の算定

原料価格変動額100円につき従量料金単価を1立方メートル(m³)あたり0.210円調整いたします。

$$\frac{0.21}{100} \times \frac{-4700}{100} \times 110\% = -10.8570 \doteq -10.86 \text{ 円}$$

4. 調整単位料金の算定

料金表の基準単位料金に従量料金単価調整額を加算して従量料金単価とします。
ただし基本料金につきましては変更ありません。

5. サヴァンパレス西津田の料金表(料金は全て税込表示)

サヴァンパレス西津田

適用料金表	基本料金(円)	基準単位料金(円)	調整後従量料金単価(円)
A群 0.0~8.0m ³	919.86	543.91	533.05
B群 8.1~30.0m ³	1,177.00	511.77	500.91
C群 30.1m ³ 以上	2,257.75	475.73	464.87

2024年8月改定